

京都府公立大学法人会計監査業務に係る  
質疑回答書

質問内容	回答
<p>1 年間の監査スケジュールにつき、概ねの時期と往査場所をご教示ください。 また、会計監査人と理事者、監事、病院長等他の役職者とのコミュニケーション内容と時期も合わせてご教示ください</p>	<p>①監査スケジュール ・11月（延べ3日 往査場所：医大） ・3月（延べ4日 往査場所：医大、北部、府大） ・3月末日（期末棚卸 往査場所：医大、北部） ・5月中旬～6月第1金曜日（延べ15日程度 往査場所：医大、北部）</p> <p>②コミュニケーション ○監事 内容：会計監査人の監査計画概要説明 時期：11月上旬 ○理事者等 内容：外部・内部環境、運営上の重点課題、中期目標等の達成状況や年度計画の内容、内部統制の整備・運用状況 等 時期：1月～3月</p>
<p>2 附属病院および北部医療センターで利用されている医事会計システム・電子カルテシステムの名称と提供業者名をご教示ください。</p>	<p>○医事会計システム 名 称：HOPE X-W 提供者：富士通Japan(株)</p> <p>○電子カルテシステム 名 称：HOPE EGMAIN-GX 提供者：富士通Japan(株) ※附属病院、北部医療センターいずれも同じ</p>
<p>3 附属病院収益や病院の債権について、医事会計システムの情報を財務会計システムにどのように連携しているのか業務フローをご教示ください。</p>	<p>①患者負担分 医事会計システムから日次で集計された結果について、月次で財務会計システムに仕訳入力（預金orカード払分の未収入金／収益）</p> <p>②患者負担分の未収 医事会計システムで集計し、年度末に一括して財務会計システムに仕訳入力（未収入金／収益） ※期首残高の洗替により処理</p> <p>③保険請求分（請求、保留、返戻・査定） 医事会計システムで集計された結果について、月次で財務会計システムに仕訳入力（未収入金／収益） ※附属病院、北部医療センターいずれも同じ</p>
<p>4 請求保留債権の概ねの金額水準（年度末もしくは年平均等）につき、ご教示ください。</p>	<p>【附属病院】約12.8億円（令和3年度末） 【北 部 C】約 1.5億円（令和3年度末）</p>
<p>5 京都市内以外の拠点（北部医療センター、精華キャンパス）のみでしか確認できない会計書類があれば、その書類名をご教示ください。 また、法人本部、大学事務局で写しなどの確認が可能かどうか合わせてご教示ください。</p>	<p>①京都市内以外の拠点でしか確認できない会計書類 証拠書類全般、帳簿のうち現金出納帳</p> <p>&lt;証拠書類の例&gt; 【北部C】 ・支出の決定に関する書類 ・入札関係書類 ・契約書 ・納品書（業務完了報告書） ・請求書 ・支出命令原票 ・レセプト ・保険者支払通知書 等</p> <p>【精華キャンパス】 ・支出の決定に関する書類 ・入札関係書類 ・契約書 等</p> <p>②法人本部等で写しが確認できるもの 伝票及び帳簿（現金出納帳を除く）</p>

	質問内容	回答
6	<p>後任監査人は、前任監査人から会計監査業務の引継ぎを受けるに際し、前任監査人への質問や監査調書の閲覧を実施いたします。その際に前任監査人において発生する費用の請求を貴法人が受けることとなると思いますが、このコストの取扱いについて決まった方法がありますでしょうか（後任監査人は、引継ぎに係る費用も含めてのご提案をしていますので特に問題にはなりません）</p>	<p>前任監査人において発生する費用の請求について決まった方法はありませんが、お見込みのとおり、前任監査人から京都府公立大学法人へ請求されることになるという認識です。</p>
7	<p>会計監査人及びその関連会社において、会計監査業務以外のサービスを同時提供しているケースはありますか。また、ある場合、監査人の独立性という点からは、どのような方針に基づいて会計監査以外の業務を委嘱されていますでしょうか。</p>	<p>会計監査業務以外のサービスを同時に提供しているケースは現在ございません。</p> <p>なお、独立性については、国際会計士倫理基準審議会の倫理規定に基づく取扱とすることで担保されるものと考えています。</p>
8	<p>貴法人の令和3年度の損益は赤字となっていますが、セグメント別に見た場合、病院部門の赤字がその要因となっているように見受けられます。公共性の高い法人において、病院部門の経営の経済性・効率性については、次年度以降改善を見込まれておりますでしょうか。</p>	<p>令和3年度にも、コロナ禍で手術制限を行うなど新規患者が増やせない中でも、病床稼働率を向上させる増収策を講じたほか、医療用材料について、業者折衝等により約1千4百万円のコストカットを行いました。また、診療科ヒアリングを実施し、患者数や診療単価等の現状分析を基に作成した収入計画を含めた「附属病院経営戦略プラン（中期事業計画）」を策定しました。</p> <p>令和4年度も引き続きコロナ禍で手術制限が行われ、更に、光熱費の高騰などにより厳しい経営状況が続いていますが、令和4年4月の診療報酬改定を踏まえた施設基準の取得や、一部の診療科において病床の一元管理を始めるなど経営改善に向けた積極的な取組を行っています。</p> <p>次年度においては、今年度設置した病床管理の検討会を中心に、病院全体での病床の一元管理を推進し、新規入院患者や平均在院日数の適正化を図るなど、「附属病院経営戦略プラン」に基づく様々な取組を実行していく予定です。</p>
9	<p>貴法人の施設のうち、府立大学構内の第一体育館は老朽化のため現在不使用となっていると伺いました。他にも古くなってきている建造物が見受けられました。そのほかの施設で使用を中止する予定や大規模修繕の予定されている施設がありますでしょうか。</p>	<p>【医科大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花園学舎</li> <li>体育館や弓道場などは課外活動で使用しているものの、本館については閉鎖中</li> </ul> <p>【府立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一体育館</li> <li>体育授業での使用停止中</li> </ul> <p>上記のほか、両大学や病院等の附属施設とも施設整備を控えているが、今後使用を中止するなどの具体詳細のスケジュール等は現在のところ未定です。</p>